

企業紹介

先進の膜体技術と豊かな創造力で
快適な膜構造建築を実現する



今泉テント株式会社

代表取締役 今泉 義春
〒940-1138 長岡市滝谷町1917-5
TEL 0258-22-0088 FAX 0258-22-0083
<http://www.imaizumitent.com/>

業 種：建設業、鋼構造物工事業
資 本 金：2,000万円
取扱製品：テント倉庫、開閉式テントなどの膜構造建築
可動式日除、ゴルフネットなどの店舗・商業施設
災害テント、緊急倉庫などの災害対応製品

膜体技術と豊かな創造力で全天候型開閉式ドーム、テント倉庫、店舗などの建築を行う今泉テント(株)。(社)日本膜構造協会の技術基準をクリアした膜構造建築の専門企業として、多くのお客さまから高い評価と信頼を得ている。近年では、廃棄物処理施設用テントやソーラーパネル付テント膜など環境に配慮した取り組みにより、更なる業容拡大を目指している。

北信越地域唯一の膜構造建築の専門企業

同社は、昭和43年に車両の帆や荷台シートテントの製造販売業者として創業。昭和45年、大阪万博会場での各種パビリオンの膜構造建築に着目、テント大型化への事業転換を決意。その後、北信越地域では唯一、(社)日本膜構造協会の技術基準をクリアした※膜構造建築の専門企業に成長している。さらに事業拡大に伴い、長岡市滝谷工業団地に新社屋新築、移転している。



▲長岡市滝谷工業団地にある本社屋及び膜屋根工場

豪雪地域においても膜屋根工場やテント倉庫などの豊富な施工実績を持ち、メンテナンスや張替などアフターサービスにも万全を期すことで多くのお客さまから高い評価と信頼を得ている。一級建築士や膜施工管理技術者を数多く有しており、お客さまの多種多様なニーズに柔軟に対応できる、これが同社の強みとなっている。

※膜構造建築とは、屋根や外壁に薄くて軽量の膜材料を用いた建築物で、綿密な構造計算に基づき設計施工される。

高品質、低価格、短納期を実現する膜構造建築

同社では、膜構造建築の特徴を活かし、一般の建築物に比べ大幅な建築費の低減と工期短縮を実現。さらには、耐熱性・耐久性・耐震性にも優れ、明るく涼しい室内空間の提供により光熱費を抑制し、CO₂削減もできる環境にやさしい建築物を提供している。

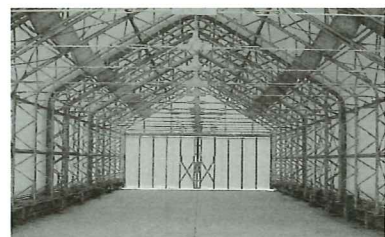


▲同社が手がけた「新幹線展示場」(台湾)

同社が手がける膜構造建築は、スポーツ・レジャー・文化施設、大型倉庫、イベント会場、店舗・商業施設、ホテル中庭など様々な分野で採用されており、国内はもとより台湾などの海外への販路拡大も進んでいる。

環境に配慮し、更なる業容拡大を目指す

さらに近年では、東日本大震災による放射能汚染廃棄物の悪臭防止用シートや廃棄物処理施設用テントなど環境保護対策にも活用の幅を広げている。また、東京都の九段会館で起きた天井崩落事故発生以降、体育館やホール施設などで増大している膜天井需要に対応し、昨年、工場を増設。今後はソーラーパネルを組み込んだテント膜の開発・販売により更なる業容拡大を目指している。



▲防災資材格納庫内部